

## 白山の火山活動の状況について

令和6年3月  
金沢地方気象台

### 1. 令和5年の白山の火山活動について

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。
- ・令和5年中、噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありませんでした。

### 2. 直近（令和6年1月～2月）の白山の火山活動について

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。噴火の兆候は認められません。
- ・噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

## 令和5年（2023年）の白山の火山活動

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

## ○噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2023年の発表履歴

2023年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）
------------	----------------------------

## ○ 2023年の活動概況

## ・ 噴気などの表面現象の状況（図1）

白峰監視カメラ（白山山頂の西約12km）による観測では、山頂部に噴気は認められませんでした。

## ・ 地震や微動の発生状況（図2、図3）

白山付近を震源とする火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。また、火山性微動は観測されませんでした。



図1 白山 山頂部の状況  
(12月6日 白峰監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

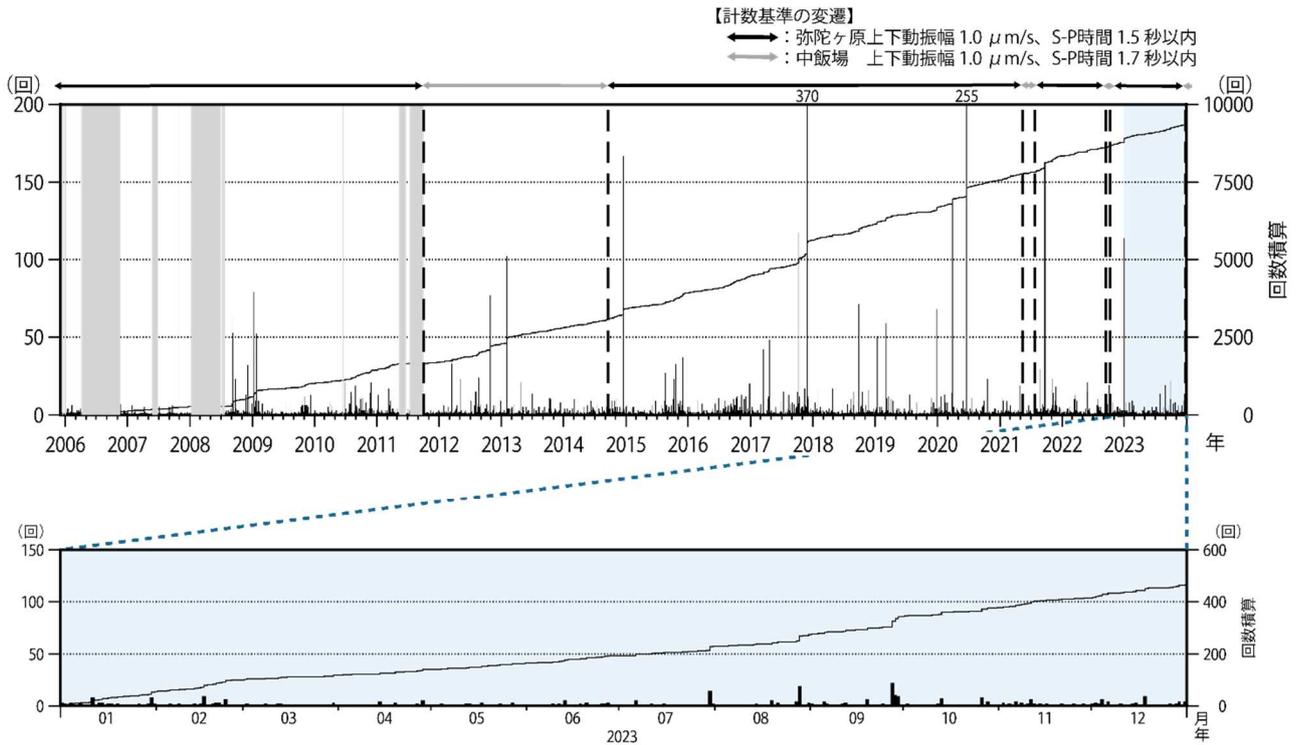


図2 白山 日別地震回数  
 (上段 : 2005 年 12 月 1 日 ~ 2023 年 12 月 31 日、下段 : 2023 年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日)  
 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。

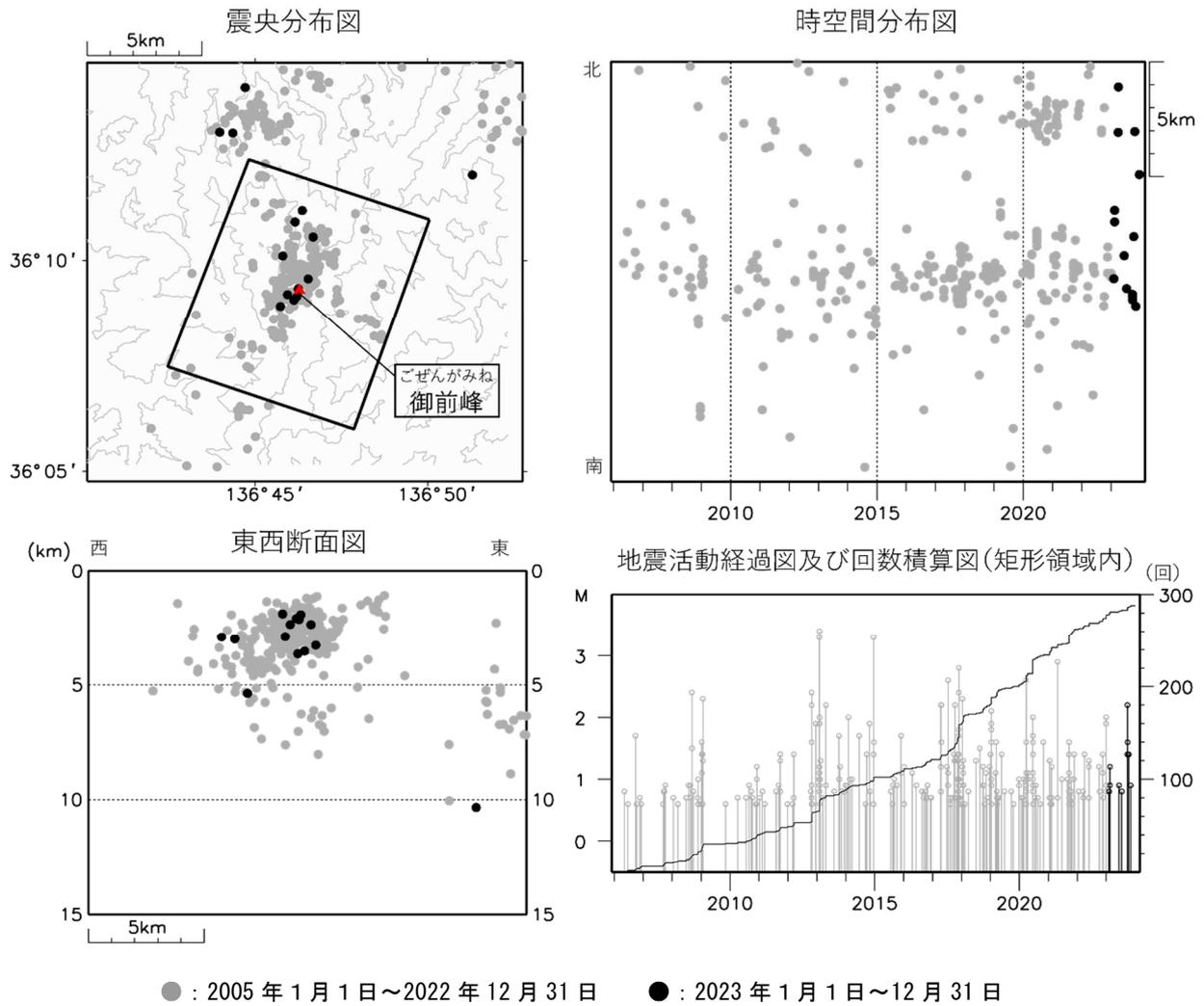
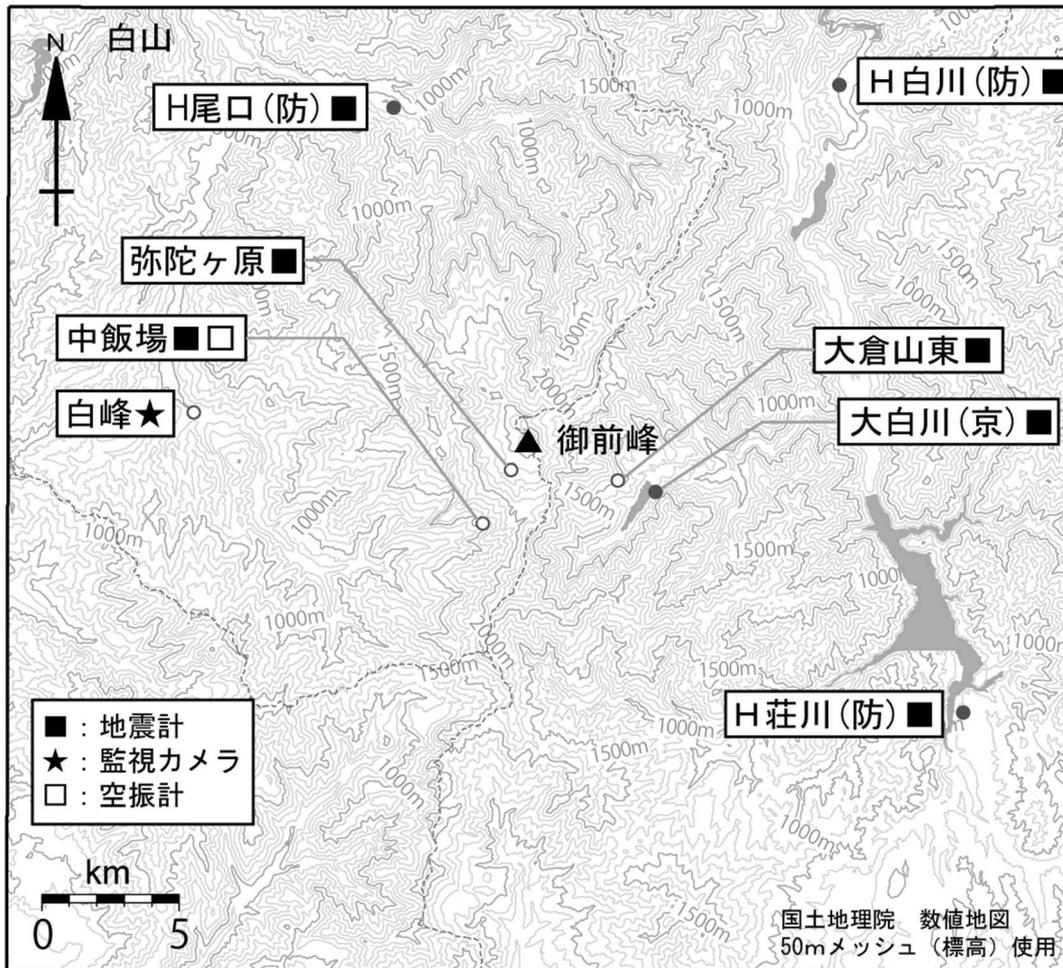


図3 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2005年1月1日～2023年12月31日）  
 広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。  
 M（マグニチュード）は地震の規模を表します。M0.6以上の地震を表示しています。  
 図中の震源要素は一部暫定値を含んでおり、後日変更することがあります。  
 この図では、関係機関の地震波形を一元的に処理し、地震観測点の標高を考慮する等した手法で得られた震源を用いています（ただし、2020年8月以前の地震については火山活動評価のための参考震源です）。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (防) : 防災科学技術研究所、(京) : 京都大学防災研究所

図4 白山 観測点配置図

表1 白山 気象庁の観測点一覧

測器種類	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高(m)			
地震計	弥陀ヶ原	36°08.78′	136°45.86′	2345	0	2005.12.1	
	中飯場	36°07.72′	136°45.17′	1540	0	2011.10.1	
	大倉山東	36°08.60′	136°48.45′	1603	-2	2016.12.1	広帯域地震計
空振計	中飯場	36°07.72′	136°45.17′	1540	2	2011.10.1	
監視カメラ	白峰	36°09.92′	136°38.10′	527	5	2010.4.1	